

## 編集委員のページ



藤井 まい

アジア欧州財団副ダイレクター

感染症緊急事態準備即応コーディネーターとしてアジアと欧州54か国を対象に新型コロナウイルス感染症対策に従事。

### グローバルヘルスを考えるきっかけ

現在、シンガポールに本部のあるアジア欧州財団でCOVID19対策関連の仕事をしています。比較的新しい組織ですが、アジアと欧州の54か国を対象に感染症関連のプロジェクトを運営してきたことから、今年度よりCOVID19の蔓延防止のための、医療物資（ストックパイル）の調整や調達も大きなプロジェクトのひとつとして加わりました。大規模で、多岐にわたる調整も重要で、日本や各国政府、WHOをはじめとする国際機関とも連携を取りながら進めていくこととなります。国際協力的一方で国益、各国間の関係や経済格差など様々な要因があり、感染症の状況も日々変わる中で最善を尽くすしかありません。

しかし、私のこの経験に限ったことではありませんが、昨年からのCOVID19の世界的な蔓延は、多くの人にとってグローバルヘルスを体験し考えるきっかけになったのではないのでしょうか。これまで、健康や国際的な医療や看護、保健事情について興味がなかった人にとっても、それぞれ置かれてる立場から何らかの関わりを持つことになったと思います。

私は、今年の春に、日本からシンガポールへ赴任が決まり、日本の緊急事態宣言等の対策下での生活を経験し、出国前72時間のPCR検査などの水際対策、そして、渡航後は空港から直行で、隔離用ホテルに移動し、2週間過ごしました。隔離後に街の様子をみたり、シンガポール政府の政策に基づく各組織の業務形態からもやはり国がどう対策を考えるかは重要だと思いました。

## 寄付者のご芳名

当協会にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

(匿名希望を除く。50音順、2021年5月末現在)

この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

橋本 晶 様

一般社団法人生産技術振興協会

株式会社ヤマイチテクノ